

格闘技先生プロデビュー

小田教諭 (土佐 塾高)



「大きなけがに気を付けて今後
も戦いたい」と練習に励む小田
貴久さん(高知市の高知東高校)

大技決め勝利で飾る

修斗は打撃、投げ、寝技を組み合わせて戦う総合格闘技。関節技や絞め技による一本、ダウンによるノックアウト、判定などで勝敗を決める。県高校体育連盟(高体連)レスリング専門委員

取得した。

2008年から県内の格闘技団体「二領具足」に所属。11、12年の「修斗アマチュア全日本選手権」で連年の準優勝を果たし、プロライセンスを取得した。

土佐塾中高で保健体育を教える小田貴久さん(31)＝高知市一宮東町＝が先月、高松市で行われた総合格闘技「修斗」の試合で、プロ格闘家としてデビュー。見事、判定勝ちを収めた。大技も繰り出して会場を沸かした小田さんは「納得いく試合ができた。これからも頑張る」と、さらに闘争心をかき立てている。

(吉川博之)

プロ初試合は修斗公式戦「FORCE2」。小田さんは78kg級で大阪の選手と対戦した。相手は身長190cmで、ブラジリアン柔術の経験もある難敵。身長172cmの小田さんは「距離を置けばパンチが来る。詰めれば投げられる」と考えたが、豊富なレスリング経験を生かし、相手を組み伏せてから、打撃を中心に攻める作戦で挑んだ。様子をつかがう相手に対し、「押し押せていけた」。プラン通り懐に飛び込み、相手を倒して攻勢をかけた。後半、相手後方に回って投げる「ジヤーマンスープレック」の技を決めると、満員の会場は大歓声。終始優勢に試合を運び、3-0で判定勝ちした。

「お金を払って来てくれる人たちが『面白かった』と感じてもらえる戦いをしたい」と臨んだ小田さん。「パーフェクトだったかな」と自身が振り返れるほどのベスト・ファイトだったようだ。

この試合、マネージャーとセコンドを務めた門屋政司さん(34)＝高知市春野町＝は「小田さんの活躍は高知で総合格闘技を続ける人たちの道を開いてくれる。本当にありがたい」と称賛する。

今後も教員生活とプロ格闘家の「二足のわらじ」を続けるという小田さん。「学校も『業務に支障がなければ』と快く許可してくれる。周りで支えてくれる全ての人に感謝して戦う」と鍛錬の日々を送っている。